

「オホーツクの森」でボランティア育樹を実施

ボランティア団体や常呂漁協、国、市等で構成されている実行委員会主催（事務局：常呂川森林ふれあい推進センター）による第11回の「オホーツクの森」ボランティア育樹が、6月12日(木)に、148名参加のもと行われました。

当日の予報では、午前中は雨との予想であったため、実施に当たって非常に不安でしたが、早朝に雨が降った後は、一日、降雨がなく、暑くもない中でのイベントとなりました。

また、このイベントには、例年、常呂小学校及び端野小学校各5年生（今回66名）も参加しており、国有林である「オホーツクの森」内のアカエゾマツ人工林(昭和61年植樹)の枝打ちを行いました。

最初に、開会式では鈴木順策実行委員長の挨拶の後、参加者を代表して北見市の藤澤自治区長からご挨拶をいただき、森林の効用や地球温暖化にも貢献する森林整備の重要性について話されました。



開会式後は、各々枝打ちの持ち場まで移動し、作業を開始しました。参加した小学生の中には初めて、のこぎりを使う子もいて、最初は苦労しているようでしたが、ボランティア団体の方々の指導もあり、枝打ちが進むと奥まで見通せるように林内がきれいになり、おのおの満足する様子が見られました。

また、枝打ち終了後、帰り道の道路際にはウドやフキ、ワラビがあったので、ボランティア団体の方からの説明を聞いてそれらを採りながら帰る子もいました。



午前の作業終了後、各小学校は帰りましたが、午後からは森林散策を楽しむグループと山菜採りを楽しむグループに分かれ、散策のグループでは遊歩道に咲くクリンソウの花などを堪能し、また、山菜採りグループは山の恩恵をたっぷり享受、参加者一同、気持ちの良いリフレッシュする一日となりました。



さて、平成28年からは、8月11日が「山の日」という祝日になるということで、このイベントも併せて、山の大切さを改めて感じてくれれば幸いです。また、これから、夏場に向けて、様々な体験イベントを用意しておりますので、ぜひ、当ホームページのチェックをお忘れなく。